

## [20] 馬術競技

1 期 日 平成 23 年 10 月 2 日(日)から 10 月 6 日(木)まで(5 日間)

月 日	競技番号	競 技 種 目
第 1 日 10 月 2 日(日)	第 1 競技	成年男子 馬場馬術競技
	第 2 競技	少 年 馬場馬術競技
	第 3 競技	成年女子 二段階障害飛越競技
	第 4 競技 -1	少 年 団体障害飛越競技(1 回戦・準々決勝)
	第 5 競技	少 年 二段階障害飛越競技
	第 6 競技	成年女子 ダービー競技
第 2 日 10 月 3 日(月)	第 7 競技 -1	成年男子 国体総合馬術競技(馬場馬術)
	第 8 競技	成年女子 馬場馬術競技
	第 9 競技	少 年 スピードアンドハンディネス競技
	第 10 競技	成年女子 トップスコア競技
	第 11 競技	成年男子 標準障害飛越競技
	第 12 競技	少 年 ダービー競技
第 3 日 10 月 4 日(火)	第 13 競技	成年男子 自由演技馬場馬術競技
	第 14 競技	成年男子 トップスコア競技
	第 15 競技	少 年 リレー競技
	第 7 競技 -2	成年男子 国体総合馬術競技(障害飛越)
	第 16 競技	少 年 標準障害飛越競技
第 4 日 10 月 5 日(水)	第 17 競技	少 年 自由演技馬場馬術競技
	第 18 競技	成年男子 スピードアンドハンディネス競技
	第 4 競技 -2	少 年 団体障害飛越競技(準決勝・決勝)
	第 19 競技	成年女子 標準障害飛越競技
	第 20 競技	成年男子 ダービー競技
第 5 日 10 月 6 日(木)	第 21 競技	成年女子 自由演技馬場馬術競技
	第 22 競技	少 年 トップスコア競技
	第 23 競技	成年男子 六段障害飛越競技

2 会 場 下関市 川棚乗馬クラブ

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	ホースマネージャー	選手数※	合 計
成年男子	1×47 都道府県	1×47 都道府県	84	339
成年女子			67	
少 年			94	

(注) 監督及びホースマネージャーは、選手を兼ねることができる。

※ 監督あるいはホースマネージャーが選手を兼ねる場合の人数は、上記表の選手数には含まれていない。

#### 4 種目別参加都道府県数及び実施要領

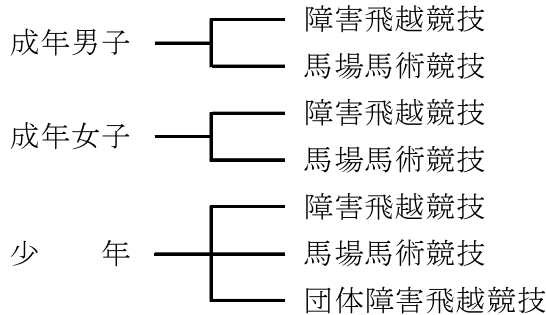
種別	種目	参加都道府県数	実施要領
成年男子	標準障害飛越競技	26	高さ1.35m以下、幅1.50m以下、水濠幅3.50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	スピードアンドハンディネス競技	26	高さ1.30m以下、幅1.50m以下、12障害以内、全長約650mとする。
	ダービー競技	26	高さ1.25m以下、幅1.50m以下、18障害以内、速度375m/分、全長約800mとする。
	国体総合馬術競技	26	馬場馬術 F E I 2009年総合馬術競技・馬場馬術課目ツースターBを実施する。 障害飛越 高さ1.20m以下、幅1.40m以下、障害数10～11個/最大飛越数14以内、速度350m/分、全長約600m以内とする。
	六段障害飛越競技	26	障害間の距離約11m、最終障害の高さ1.50mから行い、無過失者が2名以上の場合は競技を続行し、1位決定まで行う。その他で減点と同じ場合は同位とする。
	トップスコア競技	26	高さ0.90～1.50m、幅1.80m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	馬場馬術競技	14	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目2009を実施する。
成年女子	自由演技馬場馬術競技	14	日本馬術連盟制定の自由演技国体馬場馬術課目を実施する。
	標準障害飛越競技	26	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、水濠幅3.50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	二段階障害飛越競技	26	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
	トップスコア競技	26	高さ0.90～1.40m、幅1.70m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	ダービー競技	26	高さ1.10m以下、幅1.50m以下、18障害以内、速度350m/分、全長約800mとする。
少年	馬場馬術競技	14	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目2009を実施する。
	自由演技馬場馬術競技	14	日本馬術連盟制定の自由演技国体馬場馬術課目を実施する。
	標準障害飛越競技	26	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、水濠幅3.50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	スピードアンドハンディネス競技	26	高さ1.10m以下、幅1.40m以下、12障害以内、全長約650mとする。
	リレー競技	26	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、12障害以内、全長約650mとする。
	ダービー競技	26	高さ1.10m以下、幅1.50m以下、18障害以内、速度350m/分、全長約800mとする。
	トップスコア競技	26	高さ0.90～1.40m、幅1.70m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	二段階障害飛越競技	26	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
少年	馬場馬術競技	14	日本馬術連盟制定の国体少年馬場馬術課目を実施する。
	自由演技馬場馬術競技	14	日本馬術連盟制定の自由演技国体少年馬場馬術課目を実施する。
	団体障害飛越競技	12	高さ1.10m以下、幅1.40m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。

## 5 予選方法

- (1) 都道府県馬術連盟は、都道府県大会を開催し、ブロック大会の出場人馬を決定する。  
 (2) 各ブロックは、ブロック大会を開催し、本大会の出場選手数、頭数、出場種目を決定する。

ア ブロック大会に参加する都道府県は、内国産馬を1頭以上含めること。

イ ブロック大会の必須競技種目は次のとおりとする。



- (3) ア 本大会参加人馬実数は、1都道府県最大限8頭12名(監督1名、HM1名、選手10名)、最小限1頭3名(監督1名、HM1名、選手1名)とする。ただし、開催県は13頭14名(監督1名、HM1名、選手12名)とする。

ただし、個人競技に5頭以上エントリーする場合は、内国産馬を1頭以上含めること。

なお、参加都道府県は、この他に3名3頭を予備人馬として登録することができる。

イ 本大会参加人馬割当表

ブロック名	都道府県名	選手数					選手合計	馬匹数		
		成年男子	成年女子	少年				個人	団体	計
				個人	団体	計				
北海道	北海道	3	3	2	2	4	10	7	1	8
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	10	8	9	2	11	29	20	1	21
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	13	11	12	2	14	38	25	2	27
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	9	7	8	2	10	26	17	1	18
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	7	5	6	2	8	20	14	1	15
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	10	8	9	2	11	29	20	1	21
中国	鳥取、島根、岡山、広島	8	6	7	2	9	23	14	1	15
四国	香川、徳島、愛媛、高知	7	5	6	2	8	20	14	1	15
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	13	11	12	2	14	38	25	2	27
開催県	山口	4	3	3	2	5	12	12	1	13
計		84	67	74	20	94	245	168	12	180

(注) 選手実数は、監督、ホースマネージャーが選手を兼ねる場合に割当表の選手数から増える場合がある。

ウ 団体障害競技の馬匹の配分について

- ① 各ブロック大会の団体障害飛越競技において、第1位の都道府県には、選手2名、馬1頭の参加を割り当てる。
- ② 関東/九州の各ブロック大会の団体障害飛越競技において、第2位の都県には馬1頭の参加を割り当てる。なお、選手については、各ブロック内にて調整する。
- ③ 団体障害飛越競技に割り当てられた選手及び馬は、個人競技にも参加することができる。

エ 各種目別出場基準

種目 ブロック名	標準障害飛越競技、ダービー競技 スピードアンドハンディネス競技 国体総合馬術競技、六段障害飛越競技 トップスコア競技、二段階障害飛越競技 リレー競技	馬場馬術競技	少年 団体障害飛越競技
北海道	1	1	1
東北	3	2	1
関東	4	2	2
北信越	3	1	1
東海	2	1	1
近畿	3	2	1
中国	3	1	1
四国	2	1	1
九州	4	2	2
開催県（山口）	1	1	1
合計	26頭	14頭	12チーム

（注）上記の表は、成年男子・成年女子・少年の各種別に適用する。

(4) ブロック大会開催報告

ブロック大会実施担当都道府県馬術連盟は、当該ブロック大会終了後直ちに実施報告書（実施の日時、会場、参加人員、所属都道府県名、成績の概要、合格チーム名、選手の住所、氏名、その他）を参加都道府県体育協会及び社団法人日本馬術連盟に報告すること。

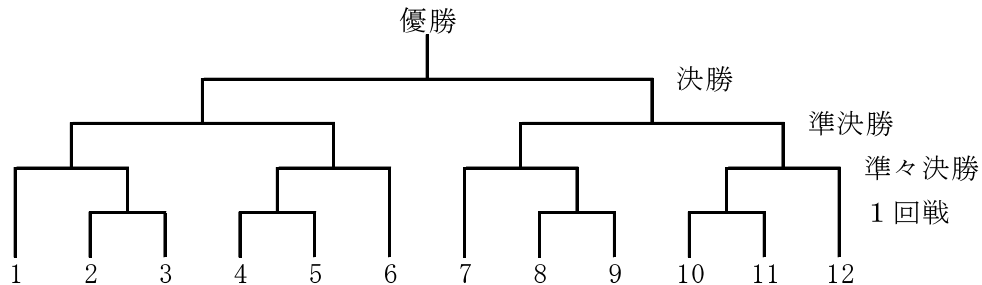
6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に基づいた条件を有することのほか、次による。

- (1) 少年種別に参加するには、中学3年生を含む平成9年(1997年)4月1日以前に生まれた者から平成5年(1993年)4月2日以降に生まれた者とする。
- (2) 選手は、ブロック大会の参加申込みの時点で、社団法人日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格B級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗者資格B級以上の資格がない場合は、社団法人日本馬術連盟の会員であることのほか参加都道府県の馬術連盟会長が発行する技能証明書を社団法人日本馬術連盟会長宛に提出すること。
- (3) 参加馬は、社団法人日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 第64回又は第65回大会(ブロック大会を含む)に参加した馬匹は、異なる都道府県から参加することはできない。
- (5) 馬匹は、参加都道府県を重複して出場することはできない。ただし、団体障害飛越競技の対戦相手チームに提供する馬匹を除く。
- (6) 本大会に出場する選手は、ブロック大会に必ず登録していること。予備登録の選手も同様である。
- (7) 本項に定める参加資格は、ブロック大会にも適用する。
- (8) 監督は、財団法人日本体育協会公認スポーツ制度に基づく、公認馬術コーチ、公認馬術指導員又は社団法人日本馬術連盟準コーチのいずれかの資格を有する者であること。

## 7 競技上の規程

- (1) この競技会は、国際馬術連盟競技会規程第 23 版(F E I によって規程が改正された場合は、変更となる場合がある)、日本馬術連盟競技会規程第23 版及び国体馬術競技規程(第 66 回大会用)を適用する。
- (2) 団体障害飛越競技は 2 名戦で下記のとおり行う。(選手は出場枠内で 3 名まで登録することができる。)



[順位決定方法]

3～4 位は準決勝の自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。

5～8 位は準々決勝の自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。

9～12 位は 1 回戦の自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。

- (3) 団体障害飛越競技に提供する馬匹を変更する場合は、速やかに競技本部に届け出ること。
- (4) 全種目を通じて選手の出場は、1 人 2 種目までとする。
- (5) 全種目を通じて馬の出場は、1 頭 6 種目までとする。
- (6) 一つの種目への 1 都道府県の出場は、1 回限りとする。
- (7) 障害飛越競技の場合は、必ず固定式顎紐付き乗馬用防護帽を着用すること。
- (8) 選手は所属する都道府県名を出場する服装に明記すること。違反した場合は出場できない。
- (9) 欠場する場合は、それが判明した時点で速やかに欠場届を総務委員に提出しなければならない。  
なお、未提出の場合は、当該都道府県はそれ以降の競技に出場することができない。

## 8 総合成績決定方法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績(皇后杯得点)は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県順に第 1 位から第 8 位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

### (1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子 成年女子 少年	成年女子	各種目に、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。

### (2) 参加得点

大会(ブロック大会を含む)に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、そのブロック大会で出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えない。

## 9 表彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。

- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。  
 (3) 各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

## 10 参加申込み方法

- (1) 所定の Web ページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて平成23年9月5日(月)までに申込み手続きを完了すること。締切期限以降は所定の Web ページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (2) 下記アの i ~ iii については、書留郵便又は宅配便で平成23年9月5日(月)までに送付すること。

	申 込 先	必 要 書 類
ア	おいでませ！山口国体 下関市実行委員会事務局 〒750-0006 山口県下関市南部町 21-19 下関商工会館 4 階 TEL 083-231-2743 FAX 083-231-2746	i. 馬の検査・注射・薬浴・投薬証明 手帳の写し <sup>(注1)</sup> ii. 日本馬術連盟乗馬登録証の写し <sup>(注2)</sup> iii. 入・退厩(変更)申込書 <sup>(注3)</sup>

(注1) 馬伝染性貧血の最新の検査証明、馬インフルエンザ予防注射歴及び流行性脳炎(馬の日本脳炎)予防注射の接種証明が記されたページの写し

(注2) 日馬連乗馬登録証の表裏の写し

(注3) おいでませ！山口国体・山口大会実行委員会事務局から後日送付される「第66回国民体育大会馬事衛生対策要項」の様式1(入・退厩(変更)申込書)

なお、変更のあった場合は速やかに「おいでませ！山口国体下関市実行委員会事務局」に報告すること。

- (3) 参加申込み締切後の人馬の交代は、特別の事情(死亡、負傷、疾病、転勤等)がある場合のみ認める。特別の事情で人馬を交代させる場合は、それを証明する書類を添付し、当該都道府県体育協会を通じて期限までに下記(i)、(ii)、(iii)あてにそれぞれ文書で届けなければならない。交代する人馬は、いかなる場合でも予め参加申込書に予備登録人馬として記載されていなければならない。所定の手続きに基づき提出された交代届は、監督会議の議を経て承認される。

ア 提出期限 平成23年9月30日(金)

- イ 提出先 (i) 社団法人日本馬術連盟  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館 6F  
TEL 03-3297-5611 FAX 03-3297-5617
- (ii) おいでませ！山口国体・山口大会実行委員会事務局  
〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号 県政資料館  
TEL 083-933-4790 FAX 083-933-4799
- (iii) おいでませ！山口国体下関市実行委員会事務局  
〒750-0006 山口県下関市南部町21番19号 下関商工会館4階  
TEL 083-231-2743 FAX 083-231-2746

※ なお、(財)日本体育協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

## 11 参加上の注意

- (1) 選手の出場順序及び組合せは、社団法人日本馬術連盟事務局において抽選により決定する。  
なお、団体障害飛越競技の抽選は開催地の監督会議会場で行う。
- (2) 団体障害飛越競技に出場する都道府県は、1 頭を提供するものとする。
- (3) 馬事衛生関係については、おいでませ！山口国体・山口大会実行委員会から後日送付される「第 66 回国民体育大会馬事衛生対策要項」に基づいて実施されるので厳守すること。
  - ア 参加馬の輸送等  
本大会に参加する競技馬の輸送は、平成 23 年 9 月 28 日(水)から 9 月 30 日(金)までの 8 時から 17 時までに入厩するように計画すること。
  - イ 入厩時に防疫検査を実施するので、「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」及び「日本馬術連盟乗馬登録証」を提出すること。
  - ウ 参加馬に対する飼料は、参加都道府県が入厩時に持参する。また、それ以外に必要な場合は、現地調達できるように会場地実行委員会が斡旋する。
- (4) ホースマネージャーの宿舎は、会場地実行委員会が厩舎の付近に準備する。
- (5) 人馬の事故に関して主催者は、その責任を負わない。
- (6) 参加者が疾病又は負傷した場合の応急手当は、会場地実行委員会が行うことを原則とする。  
また、競技馬が疾病又は負傷した場合の応急手当は、会場地実行委員会が行うことを原則とする。
- (7) メディカルカードは、各自で記載し携帯すること。

## 12 その他

### (1) 組合せ抽選会

日 時 平成 23 年 9 月 9 日(金) 午後 1 時 30 分  
場 所 社団法人日本馬術連盟 会議室  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 16 号 馬事畜産会館 6F  
TEL 03-3297-5611 FAX 03-3297-5617

### (2) 監督会議

日 時 平成 23 年 10 月 1 日(土) 午後 4 時  
場 所 会場内 総合休憩所  
〒759-6311 山口県下関市豊浦町吉永 520 番地 川棚乗馬クラブ  
TEL 083-774-3553 FAX 083-774-3122

### (3) 表彰式

日 時 平成 23 年 10 月 6 日(木) 午前 11 時 40 分  
場 所 会場内 総合休憩所  
〒759-6311 山口県下関市豊浦町吉永 520 番地 川棚乗馬クラブ  
TEL 083-774-3553 FAX 083-774-3122